

⑤【南さいはく地域振興協議会】  
発表テーマ：「地域を元気に～交流で賑わいづくり～」

**～南さいはく地域振興協議会～**

南部町の南側に位置し、町面積の4割強を占める。地域の大部分は山林で、集落は国・県道沿いまたは国・県道から入った枝谷に点在する。サンショウウオが生息する溪流や緑水湖、広大な森林が広がる自然豊かな地域。

○南さいはく地域振興協議会  
事務所：両長田ふれあい会館  
設立：平成19年4月15日

【集落数：16】

人口	775名
世帯数	274世帯
高齢化率	43.6%
	(平成27年11月末現在)



《 質 疑 回 答 一 覧 》

No.	質疑	回答
1	明道公民館との交流は地域の人々の負担となっていないか？	地域の事業に取り込みをしたので、負担と喜びを天秤にかければ、喜びが大きいかと！
2	明道公民館との交流以外にどんな取り組みをされていますか？住民の方々の理解は？	五つの活動部を中心に活動展開していくことで地域の融和が図られてきた。活動の理解は高まってきているが十分とは言えない！
3	明道公民館との交流を通して変わってきたこと、住民の方から例えばどんな声がありましたか？	地域の事業に参加してもらうことで、周りから地域に対して期待している姿を見て、地域の自然や環境に対する自信ができてきた。まちからまとまって来られることでの住民自身が閉塞感の解消になった
4	明道公民館から草刈りボランティア清掃等の考えはないのか	緑水湖周辺の桜並木の手入れや肥料やりなど参加、今後共生の里などの取り組みに発展を期待している。
5	交流の成果としての移住された方はありますか？	まだ地域に受け入れ態勢が十分でなく協議会が手掛けた人はいない、まちづくり会社や行政と連携し取り組みたい
6	交流、親との交流に広げていくことは？	明道の交流は出発は子どもの交流でしたが、5年間の交流で交流回数も内容も変わり大人の交流も実施中
7	若い人の交流は良いか、U、Iターンの取り組みかどうなのか	子育て世代は教育環境の良いまちに移住するケースが多いが、町のCCRCなどの動きと連携し検討したい
8	南さいはく明道公民館の交流事業のスタッフの確保に困っていないのか	人口減少の中なので慢性的な不足はあるが、交流はそれぞれの事業に組み入れる形でしているのでスタッフが任務を理解。
9	食の南さいはくとしてPRされては？	清流や自然の豊かさは自慢なので、これと併せ山菜・農産物や加工品等をPRしたい
10	高齢化今後の対応又は対策は？	高齢化対策の処方箋は難しく今後の課題。南さいはくを軸に集落の元気な姿を作り、年取っても安心な地域づくりをすることが、CCRCやIUターンにつながるのではないかと！
11	特産品開発一部門としてスタッフは何人？目標は設定されているのか？	特別な目標は定めていないが、商品が成熟していけばそのグループで自立し地域の雇用へとつながればと考えている。

《 質 疑 回 答 一 覧 》

No.	質疑	回答
12	都会の人をうけいれやすくするためにはどのような条件が大切ですか。	食えるだけの仕事と住まいが必要だが、まずは地域にある色々なしきたりや決まりを解りやすくし改善改革をすること
13	地域の閉塞感の減少とは具体的にはどういうことですか？	暮らしの中で人口減少や高齢化で集落の運営がしづらくなってきて、どうしようもないとのあきらめが閉塞感でありこの減少のこと
14	交流は地元の人に役立っているのか？都市部へのサービスとなっていないか？	交流参加のスタッフはボランティアで町からの参加者サービスになっているかもしれないが、地域をまちの人に宣伝し地域の理解を高めてもらえることは、情報発信効果はあるのではないか。
15	山と人が生活してこそ里山。山があることは他の地域も大きく環境変化となる。	そのためにも南さいはくのように山のふもとに住む地域を維持し環境保全・見守ることは大切であり地域が絶えないよう必死で頑張りながら、行政・まちの人たちや他の地域に協力をお願いできることはお願いしたいと考えている。
16	しめ縄の技術の後継者は何人位ですか？育成されていますか？受注はされていますか？	少なくなる一方です。あくまでも自分の家のものを作成できるようにと考えて教室をしている。
17	田舎体験お試し施設への挑戦で空き家の利用を検討しているのか？	移住定住を前提とした田舎体験として、空き家を利用したお試し施設を南部町と協議しながら検討したい。
18	明道公民館との交流のスタートはどのようなきっかけですか？今後交流をどのように進めていく考えですか？	交流のきっかけは現鳥取県地域振興局の紹介による。今後は地域資源の消費地域として考えたい、併せて自然を満喫できる農業体験なども考え、その上で第二の故郷として思われ地域の賑わいづくりも含めた地域づくり参加となれば・・・・・・・・
19	CCRCをどのように活用しようとしていますか？	地域の閉塞感を解消するためにも、住民に近いところで新規事業者や新しい取り組みが誕生することで新風を起こしてほしい。
20	地元の人が気づいた地域の魅力のいくつかを教えてください。	この山の中にも人を呼ぶことができること。地域の物産をふれあい祭りで販売したときに多くの人が立ち寄ってもらえた。地域で何気なく作っている注連縄などもまちの人からすれば目を引くものであったこと。
21	イベントは旧上長田で行うことが多いと思いますが旧東長田の資源でできるようなものはないですか？	東長田には、中国地方名山百選の南部町で一番高い鎌倉山、サンショウウオの生息する川、ほうき観音霊場2番札所と県指定自然林の金華山や旧家の生田家など資源はたくさんあるので、観光資源としていくよう今後の課題と考えている
22	明道の子どもたちが体験交流で学んだものは？南さいはくの子どもたちが学んだものは？	明道の子ども達は自然豊かな中で南さいはくの人情に接することで日ごろの生活とは違う新たな生活体験ができたのではないかと、また、南さいはくの子ども達も米子市のジュニアリーダーのてきぱきした対応に目を輝かしながら知ることができた。また米子の子供と同じ行動をすることで競争も生まれ意識の成長ができたのではないかと。
23	町全体で里山認定をうけた南部町ですが4割の面積のある里山の管理は大変ではないですか？	行政の後押しを受けながらでなければ難しいが、里山すべてを管理していくことは現体制では無理、他の色々な機関の協力がなければだめです。下流域や海の資源を豊かにするにも山は大切。
24	地域づくりに「都市の人も協力」とは具体的にどの様なことですか？	地域の居場所づくりなどで活動している緑水湖周辺整備などでは、整備事業に参加協力していただいている。また、ふれあい祭りなどでは公民館でまとまって消費に来ていただいている。
25	上長田と東長田との連携を図られるための具体的な策はありますか？	これまで行ってきたのは行事を一体化して顔合わせや心合せをしてきた。9年間たった現在では両地域で力を合わせてどう賑わいのある地域づくりをしていくかを考える時期に来ており、新地域づくり計画もその一つの目標。
26	独居世帯の見守りについて具体的にはどのようなことをしていますか？	月1回のペースで実施。話に行ったり、手づくりジュース・配食などを行ったりお出掛けに誘ったりしている。

《 質 疑 回 答 一 覧 》

No.	質疑	回答
27	将来「限界集落」がささやかれ文献にも	限界集落＝即、集落滅亡ではない。ただ、10年後20年後に向けて人口対策や地域の環境対策をしていく必要に迫られていると、集落・地域や行政に問いかけられていると自覚すべきではないか。
28	町の人を受け入れを行うためにあたって大変だった点、または留意されたことをご知らせください。	まずは、人集め、集まれば交流が生まれ、その中でさらに拡大や交流内容の手直しなど新しいものが生まれ育ってくる。
29	町外以外に今後どのように知ってもらう取組みを考えていますか？『もっと南さいはく大好き人』について	出来ればHPなどに地域の事業など、特産品や地域の施設紹介の情報を発信したい。
30	取組みのリーダー育成はどうされていますか？	特別にはしていない。活動部の活動を通じ地域の現状を知ることで育成につながっているのではないかと。
31	他地区と同じように山間部の不便な立地がありますか？在住者また移住者の不便さには何か対策は考えておられますか？	現在このようになっているのは子育て世代の転出、その後帰ってこないことに起因している。地域に暮らすものは少人数でも地域の維持保全で手いっぱいとなっているが、地域が崩壊すれば町の人でも大変なことになる理解が少ない。行政を通じながらこのことへの理解を町の人にも求めるようにしたい。
32	地域の活性化に向けて今後緑水湖及びその周辺施設の活用はどのように考えておられますか？	緑水湖周辺は、南さいはく自然休養村として平成12年まで次々に施設ができたが、鳥取西部地震後は十分な手入れがされないままとなった。協議会としても地域振興の柱としてこの地域を観光・リフレッシュ・山菜など町内特産品展示即売・スポーツ村として見直し再建ができないか行政に要望していく。
33	明道との交流を通して南さいはくの子もたちの地域に対する思いに変化はありましたか、少し紹介してください。	毎年参加者が新しくなるので変化については不明。夏休みサマーキャンプなどでの参加者は来た時と帰った時とは変わったとよく保護者からは言われる。また芋づくり教室では地域の子もたちはまちの子もたちの話に興味あるようです。
34	空家の実態把握されていますか。空家対策の取組みされていますか。地域住民の声の聞きとり移住者への理解など意見交換はされていますか？	空家は集落の人は理解しており、協議会は現在調査中。それ以外は今後の取組みの中で検討実施していく。空き家利用等でアイデアがあったら教えてほしい。
35	自然観察員を養成してはどうでしょうか。移住者として来てもらうことも良いと思いますがお考えは？	現在、自然観察員として桐原さんに頻繁に出入りしてもらっているが、行政のCCRC人材として求めるのは面白いかも！
36	連携する公民館とは職員のことですか？利用者（利用団体）をふくめてのことですか？	交流をしている明道公民館とは公民館所属の地域全体が対象ですが、交流時に内容協議するのは公民館職員であり公民館役員の皆さんになる。
37	鎌倉山も有名ですが他地域振興協議会のようなこと（案内板、エコツーリズム等のようなことは考えられないか	鎌倉山については協議会のシンボルでもあるが、身近な問題で手いっぱいです。鎌倉山の好きなグループ・町内団体・行政などの動きに協議会として協力し取り組みたい。現在、ふもとのこもれば広場の清掃作業を地区の皆さんで実施中。
38	都市と農村の交流で他の地域との交流も視野に入れている？	求めるものが合致し、地域に受けられるだけの人的・時間的・物質的余地があればできると思う。
39	東長田地区、上長田地区と集落が隔れているが事業実施に当り地理的な条件に制約があると思う。事業のバランスはとれているか。	施設的に上長田地域が多いので、結果的に開催場所が上長田が多いが、各活動部も意識してバランスはとるように考えている。ただし、一つの地域であるとの認識の上、上長田・東長田の隔てなく事業は一緒に行っている。
40	特産品への取組み‘うど’など今後も商品開発など可能性はどうなんでしょう。	地域に有る産物を磨き上げることで特産品に結びつかないか検討中。（当面は柚子の加工品等）
41	地域を元気に！！の取組みの成果をどう人口減阻止につなげようとされるのか、プロセスをどうお考えか？	当面地域が元気な姿（安心安全な地域）を作る中で、行政との連携で人口減のペースダウンを！その中で行政のCCRCなどの取組みの連携や、地域住民の皆さんの子弟へのIUターンの呼びかけなど！有効な方法があれば助言願いたい。

《 助 言 一 覧 》

No.	助 言	回 答
1	緑水湖キャンプ場に富有の里ユニットハウスを設置してはいかがですか？雨も家族で使えます	富有の里が鳥取県の補助を受けて建築。現在利用促進に向け討議中で移設には無理があります。
2	町外の小学生交流、大人の交流がもっとさかんになれば良いですね！	キャパを考えながら進めます。
3	サマーキャンプを発展させて、子どもだけで泊まれる事業もしてみてもどうか？ショートステイ的な。	子ども達を中心のサマキャンプで、大人は準備・サポーターで実施。子どもを預かる責任もありますが、ショートステイの企画は面白いですね！企画を伺いたい
4	他の地域に比べ条件が非常にきびしい中でがんばっておられることに敬意を表します。町内の他地域からもボランティアや活動スタッフを募ってください。	ご助言ありがとうございます。今後発信できるよう検討します。
5	明道竹林（山林）を提供し、管理や竹の子収穫をしてもらう。	検討して行きます。現在水田で検討中
6	山菜、きのこ等が多く収穫出来ると思いますが地域外での販売検討されては。	協議してみたいと思います。

《 助 言 一 覧 【町外から】 》

No.	助 言	回 答
1	交流会は明道公民館だけではなくイベントの中の1つだけ町外に発信したらどうか。米子市内の子どもを対象に発信したら。	キャパの問題があり、現在は明道公民館としている。
2	特産物を有効に活用すべきと思います。…松茸、しいたけetc(イノシシ)	連携関係にある緑水園とも協議し検討したい。
3	明道公民館の子どもだけはなし、大人も含めた交流にしていけば良い。	明道公民館とは順次そのような交流に変化中
4	米子市と交流するためのキャンプ場などはできないか？	現在ではキャンプ場は、森の学校(テント8張)オートキャンプ場程度。しかし、キャンプはできないが森の学校の屋内の床の上でも宿泊は可能。
5	コミュニティー作りの方策は？	まずは、話し合いの場づくり、地域の現状を知り未来予想をすることで、その問題を見える様にしながらそれぞれのコミュニティーで話し合うこと。